



税金あれこれ(105) 令和 8 年分路線価

国税庁は 2026 年（令和 8 年）7 月 1 日に令和 8 年分路線価を公表した。

今回の公表では、全国的な経済活動の活性化やインバウンド需要の継続、再開発の動きなどを背景に、地価の上昇基調がより鮮明となる結果となっています。

1. 令和 8 年分路線価の全体傾向

● 全国平均は 5 年連続の上昇

標準宅地の評価基準額は全国平均で前年比 2.9%上昇しました。この上昇率は前年（2.7%）を上回り、2010 年以降で最大の上げ幅を更新しています。

● 地方都市への波及と「二極化」の様相

都道府県庁所在地の最高路線価では、下落した都市がゼロ（上昇 44 都市、横ばい 3 都市）となり、1991 年以来 35 年ぶりに全都市で下落がありませんでした。一方で、インバウンド需要に沸く観光地や駅前再開発エリアの急上昇が目立つ半面、地方の郊外などでは横ばいや微減にとどまる地域もあり、二極化が顕著になっています。

2. 最高路線価のトピックス

● 全国トップは 41 年連続で「銀座」

全国で最も高額だったのは、東京都中央区銀座 5 丁目（中央通り・鳩居堂前）で、1㎡あたり 5,336 万円（前年比 11.0%増）でした。

● 主要都市の最高路線価（1㎡あたり）

- 大阪市北区角田町（御堂筋）：2,120 万円（前年比 1.5%増）
- 横浜市西区南幸 1 丁目（横浜駅西口）：1,760 万円（前年比 2.3%増）
- 名古屋市中村区名駅 1 丁目（名駅通り）：1,304 万円（前年比 1.2%増）

● 突出した上昇をみせた地方観光地

特にインバウンド投資が活発なエリアとして、長野県白馬村（前年比 +32.7%）や群馬県草津町（前年比 +31.3%）など、リゾート地での驚異的な上昇が話題となっています。

3. 路線価の留意点

路線価は、相続税や贈与税を算出する際の「土地の評価基準」となるもので、一般的に公示地価の約 80%を目安に設定されています。

土地の路線価が上昇すると、それに比例して相続税評価額が押し上げられます。これにより、これまで基礎控除の範囲内（課税対象外）だと思っていたケースでも、地価の上昇によって課税対象に変わる可能性があります。

直近で遺産分割や贈与などを検討されている場合は、最新の路線価をもとに財産評価の再試算を行い、現在の税負担リスクを把握しておくことが重要です。

具体的な評価額は、国税庁の「財産評価基準書（路線価図・評価倍率表）」にて、道路ごとの詳細な数字が確認できます。

以上
株式会社ウイング 崔

燃料カードの価格表【2026 年 7 月分】

AMSカード ※共通利用可能

油 種	ENEOS・Shell・COSMO
レギュラー	153.0 円
ハイオク	163.0 円
軽 油	142.0 円

【価格は税抜】

ENEOSビジネスカード

油 種	ENEOS
レギュラー	156.0 円
ハイオク	166.0 円
軽 油	139.0 円

【価格は税抜】

全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油 種	COSMO	ENEOS	宇佐美
レギュラー	155.6～157.6 円	157.4～159.4 円	156.0～158.0 円
ハイオク	165.6～167.6 円	167.4～169.4 円	166.0～168.0 円
軽 油	138.1～140.1 円	142.4～144.4 円	140.6～142.6 円

【価格は税抜】

全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油 種	ENEOS ウイング	FLEX & TRUST カード (Shell)	宇佐美 U1	エネクスフリー
レギュラー	154.9～156.9 円	157.5～159.5 円	158.1～160.1 円	153.3～155.3 円
ハイオク	164.9～166.9 円	167.5～169.5 円	168.1～170.1 円	163.3～165.3 円
軽 油	136.3～138.3 円	142.5～144.5 円	137.8～139.8 円	137.8～139.8 円

【価格は税抜】